

仙北市民会館音響機材一覧表

平成9年8月現在

ブランド	型式	数量	備考	ブランド	型式	数量	備考
マイクロホン							
SONY	C-38B	4		CANARE	EC10-B	20	
SONY	C-36P	4		CANARE	EC07-B	10	
AKG	C-3000	8		CANARE	EC05-B	10	
amcron	PCC-160	2	Half-C	CANARE	ECM015-B	50	
Audio-Technica	AT-871R	5	Half-C				
Audio-Technica	AT-935QMR/ML	2	MicroLine	マルチケーブル			
Audio-Technica	AT-915QMR/ML	2	MicroLine	CANARE	16J12F12	4	
Audio-Technica	AT-857DL/UL	2		CANARE	16C30-E3	2	
MicrotecGeffel	UM-92S	2	真空管	CANARE	16C50-E3	1	
Shure	SM-58	2		マイクケース			
Shure	SM-57LC	10		LC	MCD-10	3	
AKG	D-1200	2		ダイレクトボックス			
AKG	D-112	2		BOSS	DI-1	4	
ElectroVoice	ND-757B	4		マイクプリアンプ			
ElectroVoice	ND-408B	4		AMEK	9098EQ	2	1chPEQ
Audix	D-1	2		TMD	EmeraldGroove	1	2chEQ,Lim
Audix	D-2	4		TMD	CameleonCompany	1	2chEQ,Lim
Audix	OM-3xb	2		Aphex	107	1	2ch
ワイヤレスマイク				ハウスミキサー			
Shure	SLX2/SM58	4		AMEK	RECALL 40	1	
				ミキサー制御コンピュータ			
トランスミッタ(ピンマイク付)				IBM	PS-V	1	
Shure	SLX1/WL93	4		移動ミキサー			
ワイヤレスレシーバ				YAMAHA	M2000-40C	1	ケース付
Shure	SLX4	4		Roland	M480	1	ケース付
マイクスタンド				出力制御システム			
K&M	ST-210/2B	10		Lab.Gruppen	NLB60E	1	
K&M	ST-259B	12					
K&M	ST-201/2B	5					
K&M	255/1B	2					
高砂	MF18-TM	4		本線系プロセッサ			
高砂	MF-34T	2		YAMAHA	YDP2006	1	
National	WN-601A	5		ROLAND	AP-700	1	
National	WN-501	6		BBE	862	1	
National	WN-155	3		AllenHeath	GR-1	1	
National	WN-176	3		KlarkTeknik	DN728	1	2in6out
AudioTechnica	8614QM	4		NEXO	PS-15TD	1	
グースネック				時間系エフェクター			
Fostex	P212	6		YAMAHA	SPX-990	2	
エレベーターマイク装置							
不二音	OE-401MP	1					
三点吊りマイク装置							
手動		1		ダイナミクス系エフェクター			
カフボックス				Behringer	MDX-2000	2	
Technics		1					
Hibino	HAT-1	1		Graphic EQ			
マイクケーブル				YAMAHA	YDG2030	1	
CANARE	EC20-B	20		Behringer	DSP-8000	1	
ブランド	型式	数量		ブランド	型式	数量	
エンハンサ				モニター用ディストリビュータ			
Aphex	TypeB	1		Behringer	MX-662	1	
ヘッドフォンアンプ				モニター用パワーアンプ			

Behringer	HA-4000	1	amcron	XLS2500	7
オープンデッキ			モニター用スピーカ		
Technics	S-1500U	2	ElectroVoice	SX-200	10
TASCAM	22-2	1	ElectroVoice	Sb-120	4
カセットデッキ			スピーカスタンド		
TASCAM	112Mk-II	2	ElectroVoice	200T	4
CDプレーヤ			簡易SR用ミキサー		
TASCAM	CD-301MK-II	2	YAMAHA	ProMix 01	1
MDレコーダ			簡易SR用カセットデッキ		
SONY	MDS-501	1	Tascam		1 Wデッキ
SONY	MDS-E11	2			
DATレコーダ			簡易SR用CD		
SONY	DTC-59ES	1	TASCAM	CD-501	2
			簡易SR用本線エフェクタ		
			Roland	AP-700	2
			Behringer	MD-1200	2
ディスコミキサー			簡易SR用パワーアンプ		
AudioTechnica	ATM-25	1	amcron	XLS2500	3
ロビー送り・録音用ディストリビュータ			簡易SR用メインスピーカ(プロセニアム)		
Behringer	MX-662	3	ElectroVoice	SX-200	4
デジタルマルチレコーダ			簡易SR用はねかえりスピーカ		
TASCAM	DA-88	1	ElectroVoice	SX-200	2
デジタルインターフェース			予備パワーアンプ		
TASCAM	IF-88AE	1	YAMAHA	PC-1002	1
HDレコーディングシステム			amcron	PowerTech-3	2
			予備スピーカ		
			2現象シンクロスコープ		
			SonyTectronics		1
調整室モニターアンプ			フェーズチェッカー		
amcron	MA-601	1	SCV	PC-80MkII	1
Accuphase	PRO-6	1	紫外線消毒器		
調整室モニタースピーカ			安全板金	200X	1
StageAcampany	M-44	2	デシケータ		
EAW	MS-20	2	SunPlatec	Auto C-3B	1
YAMAHA	NS-10M	2			
メインパワーアンプ					
Lab.Gruppen	FP7000	5			
メインスピーカ(Mid-Highフライング)					
NEXO	PS-15	6			
NEXO	LS-1000	4			
モニター用エフェクタ					
Roland	AP-700	4			
Behringer	MD-1200	4			
ElectroVoice	Xp-200a	4			

備考

ワイアリング系統について

ミキサー室・ステージ間

カナレ16chマルチケーブル及びマルチボックスによる壁面直付け。上下共に32ch。

上下ともABと称し、Bは舞台後ろ壁面にパラ延長

出力用に上下ともカナレ8chマルチケーブルとマルチボックスを設置

下手には非常用信号、及びハウス卓の跳返りの簡易SRシステム送り2chを含む8chボックスあり

旧システム残存回路として

大臣柱	上下×2ch
舞台前床	2ch×3ボックス
舞台後壁	2ch×2コンセント
舞台下手	16chコンセントボックス

ぶどう棚 3CH

ミキサー室・客席間

客席中央ですり足もと	8ch	ミキサー室内110号
2階上手二番目のドア内側	16ch	カナレマルチボックス直付け

3点吊り 2ch

PA電源について

舞台上下にC型30A5口、計15kを用意しております。

また、舞台下手側にはT型6口、計5kのコンセント盤が別途用意してあります。

舞台照明側から電源供給される場合はおのおのA型30Aコンセントでトランス直結可能ですので、照明担当者と協議の上ご利用ください。

電源車を利用する場合は、舞台下手袖溜りに、ケーブル取込口がありますのでご利用ください。

客席中央手摺足もとには平行2口計2kがありますので、ミキサー等にご利用ください。

その他

当館では布製ガムテープを禁じてませんので、客席内にケーブルを渡す場合、事故の無いよう十分な養生をしてください。

長テーブルはロビー下手側階段下でございますので、随意にご利用してください。

スピーカーのスタッキングに関しては特に制限は設けていませんが、各自において、十分な安全策を講じてください。また、その安全策を会館にご提出ください。

最大音圧に関しても、明示的な制限は設けませんが、お互いの健康のためにも演奏中の平均音圧が過大にならないよう、常識的に判断してください。

一覧表以外の件について

ケーブル類については一覧表以外にも各種用意してあります。(Phone to Phone、Spicon to Spiconなど)

仙北市民会館の建築音響上の特性について

○当館では設計者が音響に特に明るかったわけではないので、いくつかの音響上の不具合があります。あらかじめ了解の上プランなりオペレートをお願いします。

- SimSYSTEMによる測定では、通常のヴォーカル位置では1次反射音が生音より、客席位置では大きくなります。
- また、フロントサイドの張出が大きいため舞台に返る音が大きく、舞台上の音と相まって、100~200Hz間で位相が数回転しており、全体に濁りを発生させる原因となっていますので、EQ・サブローの逆相化等にて対応してください。
- 全体に低音の吸音が弱く、特に舞台上における低音の回り込みは著しいものがあります。
- 壁面構成材がコンクリートでかつプレーンな形状をしているため、舞台客席とも明白な反射を起こし、かつ高い音圧で複雑に返りますので、舞台上の生音がうるさく、客席の音もうるさく舞台に戻ります。よって、本番時には客席騒音が吸音以上にフィードバックに影響する場合がありますので、特に中高域におけるハウリングマージンを大きめに確保してください。
- 舞台前面床下のアルミ製吸気ガラリは、バスターやベースでびびる場合があります。
- また、天井材も強固とは言いかねるので、ビブリの発生の可能性を考慮してください。
- 通常、ミキサー席を設置する客席最奥部は、ミキサー室、調光室等の張出下になっており、低音がやせる傾向があります。あらかじめご承知置きください。
- 客席最後部及びミキサー室等の前面、つまり、直接音放射の最奥部には吸音用にカーテンを設置してあります。特に生音の戻りの低減及びハウスSR放射音の指向目的外の余剰反射音の低減を目的としていますので、スピーカー設置の参考にしてください。
- また、花道奥の鳥屋口奥にキャビティが成立し、フラッタの発生と位相干渉の原因となっていましたのでこちらも吸音処理を目的としたカーテン設置をしております。
- 残念ながら空調設備騒音がNC値で40以上にも達しており、ピアノシモ時には問題となります。吸収式冷温水機を利用している関係上停止処理に15分以上必要としますので、特に静寂を要するイベントの場合は、あらかじめ進行にこの要素を組み込まれることをお勧めします。
- 床材が檜材のフローリングですのでほぼ一枚板と見做せ、且つコンクリート床との距離が30cm程度ですので、100Hz以下で長大に鳴ります。床を蹴ると確認可能。打楽器系、動作に伴うノイズが大きいので留意下さい。
- 上記条件とも相まって特に和太鼓の小太鼓は大きく響きわたります。ご配慮下さい。

- なお、ケーブルについては工事引渡し時の本数で、現状減失がありますので、主催者様にて調整対応をお願いします。